

質問回答書(1回目)

次の工事に関する質問に回答します。

工事名：R1徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 第二陸上競技場トラック改修工事
路線名等：鳴門総合運動公園
工事箇所：鳴門市撫養町立岩

番号	質問事項	回答
1	現状のウレタン走路の衝撃吸収率、変位量の値を教えてください。	現状の衝撃吸収率、変位量は把握しておりません。必要性があれば、試験を実施します。なお、試験費については甲乙協議により変更の対象とします。
2	ウレタンベース層の下地との接着性についてですが、通常、現場で確認する試験で、現場ごとにアスファルトの仕様、状態が異なることもあるため、通常は現場の品質管理として実施しております。そのため、現場の品質管理規格値と考えてよろしいでしょうか。	現場の品質管理規格値です。
3	特記仕様書6ページ(全天候型舗装)第14条2材料③表層には、『日本陸連公認競技場で実績のある国産品で、かつ国際陸上競技連盟(以下、「IAAF」という。)の認証材料を使用すること。』とありますが、「IAAF」が認証されているのは、各社の舗装材です。IAAF認証の舗装材の使用でよろしいでしょうか。	特記仕様書のとおりです。
4	特記仕様書8ページ表-1 ウレタン舗装材品質規格表 ウレタン舗装材の変位量の値ですが、 $0.6 \pm 0.1\text{mm} \sim 2.2 \pm 0.1\text{mm}$ の間となっておりますが、IAAFの規格値は2.2ではなく、2.5です。IAAFの規格値ではなく今回工事の品質管理は、 $0.6 \pm 0.1\text{mm} \sim 2.2 \pm 0.1\text{mm}$ で管理しなければならないということでしょうか。	IAAFの規格値「 $0.6 \pm 0.1\text{mm} \sim 2.5 \pm 0.1\text{mm}$ 」とします。